

チアクロプリド粒剤 バリアード箱粒剤	取扱メーカー： 日農 原体メーカー： バイエル
成分： チアクロプリド〔ネオニコチノイド系〕……………1.0%	性状： 類白色細粒 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- 既存の有機リン系、カーバメート系、合成ピレスロイド系等と異なる新しいタイプのネオニコチノイド系殺虫剤である。
- 致死濃度以下でも制虫的に作用するため、圃場においては長い残効性を示す。
- 殺虫スペクトラムはコウチュウ目（イネドロオイムシ、ゾウムシ類）である。
- 浸透移行性に優れている。
- 他剤に抵抗性の害虫に対しても確実な殺虫効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水してから田植機にかけて移植する。
- 残効性が長時間期待できるので防除回数低減が可能となる。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後、田面が露出しないようにする。
- 適用作物（稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………



【適用と使用法】……………

作物名	適用害虫名	1箱*当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	チアクロプリドを含む 農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ツマグロヨコバイ	50 g	移植前2日 ～移植当日	1回	育苗箱の上 から均一に 散布する	1回

* 育苗箱は30×60×3cm、使用土壌約5ℓ